

皆様の情報誌です。ぜひ、ご家庭にお持ち帰りください。 <http://www.hosp.u-ryukyu.ac.jp/>



琉球大学医学部附属病院長

藤田 次郎

巻頭の挨拶

みなさん、明けましておめでとうございます。

私は昨年同様、年末・年始は故郷の香川県高松市には帰省せず、沖縄県で暖かいお正月を過ごしました。娘も沖縄に戻り、久しぶりにのんびりと過ごしておりました。元旦は良い天気、朝、琉球大学医学部附属病院を訪れたところ、久高島を眺望できる「海の広場(呼称)」には多くの近所の方々が朝陽を見ようと集まっておられ、私もタイミングよく初日の出を見ることができました。翌2日も美しい朝陽を見ることができました。

さて一昨年の4月から病院長に就任しておりますが、この1年9カ月は、本当に充実した日々を過ごさせていただきました。病院の問題点も把握できるようになり、これからも病院改革に取り組むつもりです。

今年の院内整備の、一番の目玉は、手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」の導入と、手術室の増室です。「ダ・ヴィンチ」は今年早々に、また新しい手術室は、平成29年6月に稼働開始予定です。また新たに3台目のCTシステムを導入し、平成29年8月に稼働開始予定です。さらに3台目のMRIの導入を計画中であり、平成29年度以降に整備する予定です。

さて本院の経営状況について述べたいと思います。昨年(平成28年度第3四半期まで)の経営状況は、DPC医療機関係数が大幅に増加したこと、また病床稼働率が改善したこと、などにより順調に推移しています。得られた収益を最新の医療機器購入などに充てることで、より質の高い医療を患者さんに還元したいと存じます。

今後、継続して急性期病院としての役割を果たすための救急医療の充実強化を図ります。また在院日数の短縮やADL向上のため、リハビリテーション、入退院センター、栄養管理指導、周術期口腔機能管理の充実強化も目指します。さらに医師の負担軽減のため医師事務作業補助者の増員を図ります。

附属病院の良好な経営状態を維持するために、引き続き、診療科、病棟、中央診療部門に関連した目標値を設定し、定期的に目標値の達成状況を確認する方法で経営改善を進めていきます。皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

本院は沖縄県における唯一の医育機関病院であり、且つ唯一の特定機能病院でもあります。これらの本院の役割を果たしつつ、一昨年末に立ち上げました沖縄県地域医療支援センターに代表されるように、沖縄県の地域医療の司令塔としても期待されており、継続的に離島・へき地医療を守るための役割を果たさなければなりません。これらも勘案して、病院機能の向上を目指していきたいと考えております。さらに重要なことは患者サービスの充実です。待ち時間の短縮、トイレの改修、癒やしのコンサートの企画、中庭のクリスマス・イルミネーションなど快適な療養環境の整備を目指します。

最後に、附属病院長として病院を受診される患者さんをはじめ、医学部、および附属病院関連の職員の皆様のご健勝と益々のご発展を祈念致します。

あなたの「疲れやすい」「すぐ息が上がる」は加齢ではなく、 心臓弁膜症かもしれません！

TAVI（経カテーテル大動脈弁治療）とは、胸を開くことなく、カテーテルで人工弁を留置する、重症大動脈狭窄症に対する新しい治療法です。

大動脈弁狭窄症とは心臓弁膜症のひとつで、大動脈弁の開きが悪くなり（古びた扉をイメージして下さい）、心臓から全身に十分な血液が送り出されなくなる病気です。症状が進むと息切れ、疲れやすさなどの症状が現れ、重症になると失神や突然死に至る可能性があります。この病気の患者さんは、ちょっとした風邪やインフルエンザにかかっても命にかかわることがあります。

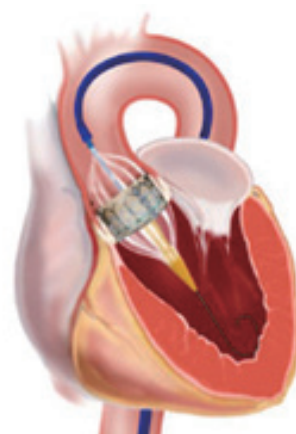
かつては、先天性のものや、リウマチ熱の後遺症などの原因が多かったのですが、近年は、加齢による動脈硬化などで弁が硬くなる大動脈弁狭窄症が増えています。高齢化が進むなかで、患者さんの数は年々増加していますが、ジワジワ進行する病気なので、気づきにくく、「年だから」の一言で受診に至らない患者さんも数多くいます。

薬の治療では完全に治すことができず、これまで唯一の治療法は、開胸して行う大動脈弁置換術（胸を開いて人工弁に取り替える）が一般的です。しかし体への負担が大きく、高齢等で体力が低下している患者さんには適用できません。大動脈弁置換術を受けなかった場合、症状がでてから2年以内に約半数の患者さんが亡くなると言われています。症状出現は80歳頃と高齢の方が多く、体力の低下やその他の病気のために手術が困難な方が少なくありません。

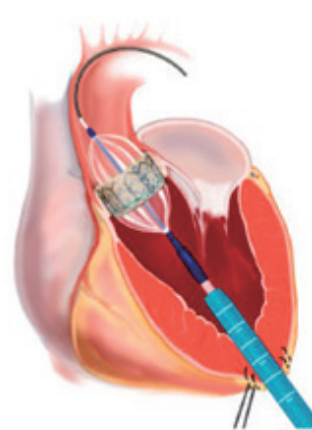
TAVIはこのような手術困難な患者さんにとって新しい治療の選択肢となります。開胸せず、心臓を止めず治療を行うので患者さんへの負担が少ないのが特徴です。この治療法は、太ももの付け根にある大腿動脈、もしくは肋骨の間からカテーテルを入れ、新たな人工弁（生体弁）を心臓まで運び、うまく働かなくなった大動脈弁の内側に留置します。一般的な開胸手術に比べ傷が小さくすみ、入院期間が短いことで患者さんの精神的・身体的負担を減らすことができます。TAVIは平成25年10月に日本で保険適応となり、現在まで全国で3000例以上施行されていますが、平均年齢85歳の高齢にもかかわらず、とても良好な成績を残しています

TAVIの治療が行える施設の基準は、関連学会の協議会が定める厳格な基準があります。琉球大学医学部附属病院はその基準を満たす県内で唯一の施設であり、平成27年6月に施設認定され、平成29年1月現在までに34人の方に治療を行い、全例の手技に成功しています。

TAVIに関するお問い合わせは、第三内科岩淵成志あるいは第二外科永野貴昭宛の紹介状を、本院医療福祉支援センター（シエント）098-895-1371、FAX 098-895-1498へお願いします。



足の血管からの治療



胸壁からの治療

琉球大学医学部附属病院形成外科では「再生医療」の研究を積極的に推進しています。「再生医療」とは病気やケガで失われた身体機能を取り戻すために、幹細胞等を利用して組織や臓器を再生する治療です。その中心となる幹細胞とは、さまざまな組織や臓器の素となる細胞です。この幹細胞を上手に利用することで、今まで治療が難しかった疾患を治療できる可能性が大きく広がると考えられています。現在、世界中の研究機関が再生治療の研究に大きく力を入れ始めています。

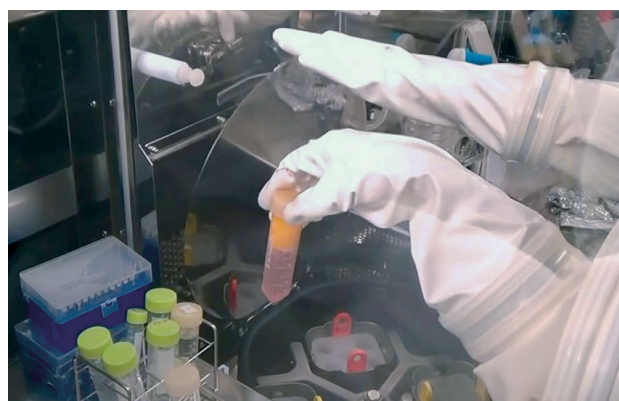
近年、幹細胞の中で特に注目されているのが、脂肪の中に存在する「脂肪組織由来幹細胞」です。脂肪組織由来幹細胞は脂肪だけではなく骨、軟骨、血管、筋肉といった色々な組織に変化する能力を有しています。また、人体に広く存在する脂肪から簡単に採取でき、十分な量を確保しやすいことから、幹細胞治療薬として実用化できる可能性が高いと考えられています。更に、現代人は過食傾向にあり、体に余剰の脂肪を貯めていることも多く、この余剰脂肪から採取された脂肪組織由来幹細胞を活用し、さまざまな疾患に対する再生治療技術を確立することが望まれています。

琉球大学医学部附属病院形成外科は2015年3月に新設されました。形成外科の脂肪採取技術と琉球大学医学部が保有する日本最高レベルの細胞培養加工施設を生かし、日本の再生医療をリードする研究を進めていきます。2016年3月には、国内初となる培養した脂肪組織由来幹細胞移植による顔面陥凹性病変の治療を実施しました。脂肪組織由来幹細胞が安全で、さまざまな病気の治療に有効であることが少しずつ確認されていますが、その詳細なメカニズムは未だに解明されていません。このメカニズムを解き明かし、現在では治療が困難とされている疾患の治療にも役立てることが期待されます。沖縄県唯一の医育機関である琉球大学から、最先端の「再生医療」を日本全国に発信していきたいと思えます。

この件に関する問合せは、形成外科 外来（火・木）098-895-3331（代表）へお願いします。



医学部に建設された細胞培養加工施設



無菌操作室内で患者さん由来の脂肪から幹細胞が抽出される様子

トピックス1

「口腔内をちゃーがんじゅー（いつも元気）に」－ラオス国で口唇口蓋裂患者に無償医療援助手術－

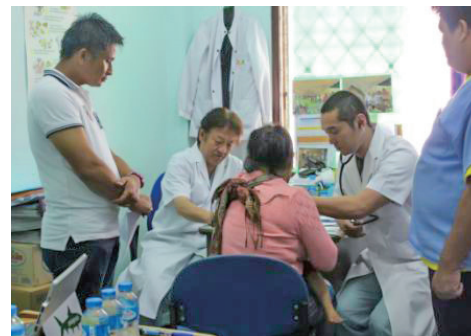
歯科口腔外科

琉球大学医学部附属病院医師らが、平成28年12月16日から20日までにラオス国・ビエンチャン市のセタティラート病院を訪れ、口唇口蓋裂患者16人に手術を行いました。今回の活動には、砂川 元琉球大学名誉教授、新崎 章教授、下地孝子看護部長、西原一秀准教授、後藤尊広助教、植村岳暁歯科麻酔医、上原綾乃看護師、中村 元歯科医師研修医、別府加奈子歯科医師研修医らが琉球大学医学部附属病院から参加しました。

琉球大学医学部歯科口腔外科は、2001年から日本口唇口蓋裂協会の要請を受けて、毎年ラオス国で口唇口蓋裂患者の無償医療援助を行い、これまでに約250名の患者の手術を行ってきました。その他にラオス国の児童・生徒への歯磨き指導など学校・地域レベルでの歯科保健衛生活動（国際協力機構・草の根技術協力事業）、ラオス人歯科医師の育成などに取り組み、2006年に沖縄平和賞を受賞しました。

12月22日、医師団はラオス国のソンサイ副首相を表敬し、ソンサイ副首相より「今後も継続した活動をラオス国民のためによりよくお願いします。」と謝辞が述べられました。

今回の医師団団長を務めた本学西原一秀琉球大学准教授は「この活動は、琉球大学医学部ならびにラオス国の関係者、沖縄・ラオス国口唇口蓋裂支援センターの皆様のご協力、ご支援で行われており、とても感謝しています。この活動を継続するとともに、今後は医療・教育分野に加えて、経済界と一体となってラオス国の支援・援助に取り組み、沖縄県とラオス国の友好を深めていければと考えています。」と述べています。



トピックス2

～排尿ケアチームによる排尿自立指導をはじめました！～

6階西病棟 副看護師長
皮膚・排泄ケア認定看護師 新崎 真由美

藤田次郎病院長と下地孝子看護部長のご支援をいただきまして、2016年8月1日に排尿ケアチームを発足しました。

排尿ケアチームによる排尿自立指導の目的は、患者さんに使用された尿道カテーテルを1日でも早く除去し、尿路感染を防ぐとともに、排尿自立「排尿管理方法は問わず、自力で排尿管理が完結できること」の方向に導くことです。

チームのメンバーは、専任の腎泌尿器外科医師、産婦人科医師、皮膚排泄ケア認定看護師、理学療法士、腎泌尿器外科・消化器外科・産婦人科の病棟看護師、医療支援課事務職員、コンチネンスアドバイザーから成ります。

2016年3月の診療報酬改定による排尿自立指導料200点の算定に伴い、当院では、5月から8月にかけて看護師と理学療法士がコンチネンス初級セミナーに参加して排尿ケアを学びました。8月にワーキンググループを立ち上げ排尿自立指導マニュアルを作成し、10月に病棟回診の実施検討、11月に院内研修会開催、12月1日より排尿ケアチームとして病棟の医師・看護師と包括ケアを行っております。

排尿に関する悩みを抱えている患者さんを支援いたしますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



トピックス3 平成28年度・消防訓練について（避難訓練）

経営管理課

平成28年9月16日（金）（16：00～16：25）、病棟・中央診療部・外来診療部を含む、合計38部署（病棟15部署、中央診療部10部署、各外来（休診を除く）13部署）で「エアータンカ・シート」による入院患者の搬送方法、外来患者の避難経路の確保方法等の確立を目的とした「避難訓練」を実施しました。

183名（訓練者、模擬患者、業務担当含む）が参加し、訓練後、東部消防職員から、火災時の避難訓練の講評を行いました。



トピックス4 救急医療にヘリ活用ー琉大構内に離着陸場ー

救急部長 久木田 一朗

琉球大学千原キャンパス構内に、医療用航空機（メッシュおよび県ドクターヘリ）離着陸地点が新たに設定されました。これまでは、西原陸上競技場等の遠隔地に降りるしかなかったため、当大学の本部に対応を願い出たところ実現しました。平成28年10月19日、当院救急部、メッシュヘリ、東部消防組合が参加する患者搬送訓練が行われました。翌々日には粟国島から当院への急患搬送が県ドクターヘリで実際に行われ、訓練が生かされました。



トピックス5 平成28年度・消防訓練について（総合消防訓練）

経営管理課

平成28年10月20日（木）（16：00～17：00）、総合消防訓練を実施しました。東部消防との合同訓練として毎年行っているものです。

火元を琉大病院7階病棟デイルーム（出火想定時間AM3：00頃）と想定し、自衛消防隊による「初期消火・通報・避難誘導」の訓練を行いました。

病院から153名（訓練者・模擬患者・業務担当）、東部消防から30名参加し、訓練終了後、東部消防本部消防長・神里昌二様、久木田救急部長から、講評を行いました。



トピックス6 平成28年度災害訓練について

総務課

平成28年11月28日（月）（15：30～16：30）災害訓練を実施しました。

当日、15：30頃沖縄本島近海にて震度4の地震が発生し多数の傷病者が本院に搬送される想定で、教職員191名、模擬患者役25名（医学部学生含む）参加し、訓練終了後、熊本大学医学部附属病院（九州地区相互訪問事業）の職員から講評を行いました。

また、翌日、29日（火）実際に体験した熊本大学医学部附属病院の職員から、本院の医師・看護師・医療技術職員・事務職員を対象に「熊本地震について」の講演会を開催しました。



沖縄県の支援を受けて本学構内に設置されたおきなわクリニカルシミュレーションセンターでは、沖縄県で医療を受ける皆様により安全で高度な処置を受けられるように、医療現場を再現した部屋や人形などを使った教育（シミュレーション教育）を提供しています。県内全域の医療系の学生から専門医に至るまで幅広い学習段階と職種の方々を対象としています。当センターでは子どもたちに医療と琉球大学をより身近に感じてもらうために、開設以来毎年小学生および高校生を対象とした体験イベントを開催して参りました。2016年は12月22日に高校生向け「医療者体験」、12月26日に小学生向け「Kid's Sim」を開催し、それぞれ30名ずつの参加者が集まりました。

高校生は、「診察体験」「手術体験」「救急救命体験」の3つのブースを回って、聴診器などの診察道具を使ってみる、手術器具を触ったり手術のトレーニングをしたりする、心肺蘇生をやってみる、などの体験をしました。

小学生は、体の機能のうち「たべる」「どきどきする」「いきをする」「うまれる」の4つについて、体内の構造模型やバーチャルリアリティ技術を用いた再現装置で視覚、聴覚、触覚で体験しました。学校でまだ習っていない内容もあったと思いますがみんな一生懸命取り組んでいました。



お知らせ

栄養管理部の取り組みをご紹介します

栄養管理部

年末年始は、冬至・クリスマス・年越し・お正月と多くの行事があり、心躍る季節です。栄養管理部では、入院されている患者さんに 食事で季節感を味わっていただくこと、取り組みを行っています。

クリスマスの夕食は、骨付きチキンにチャップ花の飾りつけを行い、ケーキとクリスマスカードを添えました。カロリー制限のある方にも、低カロリー手作りケーキ(80kcal)と作り方のレシピカードを添えました。小児科の配膳車は、クリスマスバージョンに変身です！

元旦の夕食は、1日でも早い御回復を願い、おせち料理を朱塗りの器(重箱)に盛り付けました。朱色は、災厄を除け生命力を高めるなどの意味がある色です。重箱は、「良いことが重なりますように」と願いが込められています。

今年も、患者さんが 食べるのが楽しみ！食べて元気に！なれるような給食づくりを、栄養管理部一同 頑張ります。



☆クリスマスケーキ☆



栄養量(1/8カット分)	
エネルギー	77 kcal
たんぱく質	3.6 g
脂質	2.9 g
炭水化物	14.9 g

(スポンジのみの成分を表示)

(↑このようにつまみ食いをする。105kcal、たんぱく質4.1g、脂質5.0g、炭水化物16.9gとなります)

材料(直径18cm型(6号型)分)・・・1人分は1/8カットです。

卵黄 4個
 卵白 4個
 人工甘味料(マービー粉末) 95g
 ココア 12g
 小麦粉 25g

飾り・・・イチゴ・生クリーム

クリスマスだけでなく、誕生日ケーキ作にも利用できますよ！

作り方

- ① ココアと小麦粉をふるって準備しておく。
- ② 卵黄を混ぜ、人工甘味料1/3量を入れ、クリーム状になるまで混ぜる。次に①を入れ、粉っぽさが無くなるまで混ぜる。
- ③ 別のボールに卵白を入れて角がたつまで泡立て、残りの人工甘味料2/3量入れ、泡をつぶさないようにさっくり混ぜる。(氷水を入れたボールで冷やしながら混ぜるとさっくり泡立つ)
- ④ ②のボールに③の卵白を1/3量を入れ混ぜる。残りの③の卵白2/3量を加え、ゴムベラで泡を消さないようにさっくり混ぜる。
- ⑤ ④を型に入れ、180度のオーブンで20～30分程度焼き、さめたら飾りつける。

琉大病院 栄養管理部(調理師・管理栄養士)

※曜日枠に赤まる●が付いた曜日が外来診療日となります。外来の際にご確認ください。

※診療受付時間は午前8時30分から午前11時まで、診療開始時間は午前9時です。予約がある場合は、その限りではありません。 平成29年1月1日現在

外来診療日割表

診療科	専門外来	月	火	水	木	金	備考
第一内科	感染症内科	●	●		●	●	新患は要紹介状
	呼吸器内科	●	●		●	●	新患は要紹介状 肺腫瘍：火・金曜日
	消化器内科(消化管)	●	●		●	●	新患は要紹介状 糞線虫外来：木曜日
	“(肝臓)”	※	●		●	●	新患は要紹介状、要予約(医療機関からの申込みに限る) 院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約 ※月曜日午後：B型肝炎訴訟診療(要予約)
	“(胆道・膵臓)”	●					新患は要紹介状 月曜日のみ
第二内科	血液内科(骨髄移植外来)		●	●		●	新患は要紹介状
	成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)外来		●	●		●	
	肥満症(生活習慣病)		●	●		●	新患は要紹介状、院外は要予約(医療機関からの申込みに限る) 糖尿病外来は専用フォーム有
	糖尿病・代謝内科	●	●	●	●	●	(院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約) (月曜日は、院内入院糖尿病患者の紹介のみ)
	内分泌内科		●	●	●	●	
	膠原病・リウマチ内科		●	●	●	●	※膠原病・リウマチ内科は専門医の確保が出来るまで休診(再来のみ可)
	骨粗鬆症・男性更年期(LOH)		●	●	●	●	※女性医師による女性外来は要予約(医療機関からの申込みに限る)
女性医師による女性外来	●		●	●	●	(院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約)	
第三内科	神経内科	●		●	●		新患は要紹介状、要予約(医療機関からの申込みに限る)
	高血圧・腎臓内科	●		●	●	●	(院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約)
循環器科	高齢内科			●	●		
	循環器内科	●		●	●	●	新患は要紹介状、要予約(医療機関からの申込みに限る) (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約)
第一外科	上部消化管外科	●		●			新患は要紹介状、要予約(医療機関からの申込みに限る)
	下部消化管外科	●		●			(院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約)
	肝胆膵外科	●		●	●		
	乳腺・甲状腺外科	●		●	●		
	小児外科	●		●			小児外科は午後のみ
第二外科	呼吸器外科		●		●		新患は要紹介状 呼吸器外科：院内紹介は事前に電話相談
	心臓血管外科					●	
心臓血管外科	ステント外来		●			●	血管外科：原則要予約(医療福祉支援センター・内線1371で予約)
	血管外科		●		●	●	木曜日：原則院内紹介のみ(主にDVT、静脈瘤)
	一般・腫瘍	●		●		●	新患は要紹介状、要予約(医療機関からの申込みに限る)
脳神経外科	脳血管障害	●		●		●	他院・他科からの紹介・予約患者は10時~11時に受付
	新患・再来	●		●		●	院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約、院内からの紹介は脳外科外来受付(月・水・金)内線1307で予約 緊急を要する患者は医局1171または病棟3801へ連絡し当日の当直医(担当医)が対応します。
	一般・腫瘍	●		●		●	新患は要紹介状、要予約(医療機関からの申込みに限る)
整形外科	手の外科	●		●		●	(院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約)
	リウマチ	●		●		●	
	骨・軟部腫瘍			●		●	
	脊椎・脊髄	●		●		●	側弯症外来：金曜日
	股関節			●		●	
	スポーツ医学(膝)	●		●		●	
形成外科	骨粗鬆症	●		●		●	※小児整形：第2、4金曜日は休診
	小児整形			●		●	※乳児股関節の精密検査は要予約 整形外来内線1301で予約
産科婦人科	新患・一般再来	●		●	●	●	新患は要紹介状
	新患科	●		●	●	●	紹介状有りが望ましいが、科の特殊性として紹介状なしでも診察します
	産科	●	●	●	●	●	火曜日・木曜日：予約再来のみ
	婦人科	●	●	●	●	●	
	生殖不妊・内分泌・骨粗鬆症	●		●	●	●	
小児科	新患・一般再来	●		●	●	●	新患は要紹介状
	生活習慣病・内分泌	●		●	●	●	小児循環器専門医は不在
	遺伝・先天代謝異常	●		●	●	●	小児腎臓科は要相談
	神経	●		●	●	●	
	新生児	●		●	●	●	
	血液(移植外来)	●		●	●	●	
皮膚科	膠原病	●		●	●	●	新患は要紹介状
	皮膚科	●		●	●	●	
	皮膚外科	●		●	●	●	
	乾癬		●			●	
	強皮症・皮膚筋炎		●			●	
腎泌尿器外科	腎泌尿器外科	●		●		●	新患は要紹介状、要予約(医療機関からの申込みに限る)
	再来	●		●		●	(院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約)
	小児泌尿器外来	●		●		●	小児泌尿器外来は、月曜日午後(予約再来のみ)
	腎移植外来(午前再来)	●	●			●	腎移植外来：午前は再来のみ、新患は午後
	腎移植外来(午後新患)	●		●		●	
耳鼻咽喉科	新患	●		●	●	●	新患は要紹介状
	甲状腺・頭頸部腫瘍	●		●	●	●	院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要
	鼻副鼻腔・アレルギー	●		●	●	●	
	中耳炎・難聴・めまい・顔面神経	●		●	●	●	
	人工内耳	●		●	●	●	
	幼児難聴・補聴器	●		●	●	●	
	口腔咽喉頭・唾液腺・音声・嚥下	●		●	●	●	
	頸部エコー外来	●		●	●	●	
	アレルギー免疫治療外来	●		●	●	●	アレルギー免疫治療外来：予約再来のみ
眼科	緑内障	●		●		●	月曜日は外来者の新患及び再来予約のみ
	小児眼	●		●		●	
	網膜硝子体	●		●		●	
	角膜	●		●		●	
	神経・腫瘍・ぶどう膜炎	●	●	●		●	月曜日の神経、腫瘍は午後の再来のみ
	一般再来	●		●		●	

※曜日枠に赤まる●が付いた曜日が外来診療日となります。外来の際にご確認ください。
 ※診療受付時間は午前8時30分から午前11時まで、診療開始時間は午前9時です。予約がある場合は、その限りではありません。 平成29年1月1日現在

診療科	専門外来	月	火	水	木	金	備 考	
精神科神経科	新患		●		●	●	新患は予約制 院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約(医療機関からの申込みに限る) 院内他科通院中の方は当科外来受付・内線1306で予約 ※紹介状も必要です。	
	一般再来		●		●	●		
	児童・思春期外来	●						
	周産期支援外来	●						
	光トポグラフィ外来	●	●		●			
認知症疾患医療センター	もの忘れ診断外来		●			●	新患は要紹介状 原則予約制。予約は認知症疾患医療センター：895-1765	
放射線科	放射線診断・IVR			●		●	新患は要紹介状 月曜日は緩和治療中心。要事前連絡、院内紹介のみ (連絡先：①4255 ②4865 ③4862) 完全予約制 新患は要紹介状、要予約(医療機関からの申込みに限る) 院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約 重粒子線治療相談外来は水曜日のみ	
	CTガイド下・PVP			●				
	甲状腺・RI			●				
麻酔科	放射線治療	●	●	●		●		
	麻酔科 ペインクリニック	●		●		●		
歯科口腔外科	新患・一般外来	●	●		●	●	新患は要紹介状 新患・一般外来：月～金曜日(水曜日を除く)	
	口唇・口蓋裂	●						
	顎変形症	●						
	腫瘍		●					
	顎関節症				●			
	外傷				●	●		
口腔ケアセンター	●	●		●	●			
リハビリテーション科	リハビリテーション科	●	●	●	●	●	当院リハは入院患者のみ。以外は電話にて要相談 新患は火・水・木曜日(要リハ紹介状) (月・金午前は検査優先) 小児産科治療外来：第3金曜日の午後(院内紹介のみ)	
高気圧治療部	高気圧治療部	●	●	●	●	●	新患は要紹介状 新患は午前11:00まで、救急は要連絡	
血液浄化療法部	血液浄化療法部	●	●	●	●	●	土曜日 通常体制 夜間・日曜・祝日はオンコール体制	
地域医療部	地域医療部	●	●	●	●	●	※新患は原則要紹介状	
総合診療センター	総合診療科部門	●	●	●	●	●	総合診療科部門は午前のみ ※外来患者のみ ※新患は原則要紹介状 火・水・金曜日の午前中・予約制※当院通院中の外来患者のみ 第3金曜日の午後のみ ※事前予約が望ましい 火・金曜日の午後のみ(インフルエンザワクチンを除く) 予約制。予約は総合診療センター・内線1310で予約(予約受付時間：月～金曜日の14時～16時まで)	
	禁煙外来		●			●		
	漢方外来			●				●
がんセンター	緩和ケア外来(身体的緩和部門)	●	●	●	●	●	新患は要紹介状(火・木曜日は予約制)	
	"(精神的緩和部門)				●	●		
	がん看護外来	●	●	●	●	●		
救急部	救急部	24時間診療						

本院の理念及び基本方針

理 念

病める人の立場に立った、質の高い医療を提供するとともに、国際性豊かな医療人を育成する。

基本方針

1. 生命の尊厳を重んじた全人的医療の実践
2. 地域における保健・医療・福祉の向上に対する貢献と関連機関との連携
3. 先端医療技術の開発・応用・評価
4. 国際性豊かな医療人の育成

患者さんの権利と責務について

琉球大学医学部附属病院では、患者さんを中心とした「安全・安心・思いやり」に基づくより良い医療を目指しております。患者さんとの深い信頼関係の上に成り立つ医療の大切さを十分に理解するとともに、患者さんには一人一人に次のような権利と責務があることを確認いたします。

●患者さんの権利●

1. あなたは、どんな場合でも、一人の人間として大切に扱われる権利があります。
2. あなたは、どのような境遇、環境であっても、専門家による平等で良質な医療を受ける権利があります。
3. あなたは、病気のことや治療について十分に教えてもらう権利があります。
4. あなたは、治療について意見を述べる権利と選択できる権利があります。
5. あなたは、あなた自身の話したこと、病気、身体について、知られたいくないことを守られる権利があります。

●患者さんの責務●

1. 最善かつ適切な診療を行なうために、あなた自身の健康状態についてできるだけ正確に伝える責務があります。
2. 主治医や担当医の治療や退院計画に主体的に取組み協力する責務があります。
3. すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、病院の規則に従い、医療の妨げとならないように協力する責務があります。特に攻撃的な態度や暴言、乱暴な行為は謹み、施設の所有物を大切に使うようにして下さい。

平成22年8月

本院までの交通機関



- 那覇バス
所要時間：那覇バスターミナルより本院まで約50分
- 97番 琉大線
経路：那覇バスターミナル～牧志～儀保～琉大病院前～長田～中部商業高校前～琉大北口
タクシー・乗用車での所要時間
●那覇市街より約25分 ●沖縄市街より約20分
●那覇空港より約35分 ●モノレール首里駅から10分
※モノレール儀保駅からバス(97番)で30分

附属病院
ホームページが
携帯サイトからも
閲覧できます。



ボランティア募集

本院では、一般の方からの病院ボランティア(外来ロビーでの案内・補助等)を広く募集しております。空いている時間を利用して、一緒に参加してみませんか？まずはお気軽にご連絡ください。
【連絡先】総務課(098-895-3331 (内線：1006))

琉球大学医学部附属病院

電話(098)895-3331(代表)
医療福祉支援センター(内線1371)
〒903-0215 沖縄県西原町字上原207番地

http://www.hosp.u-ryukyu.ac.jp/

HOT LINE

8

本紙掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします